

情報制御システム科 2年生実習

実習名：酸素アセチレンガス溶接実習

この授業は昨年度「開かれた授業研究」を実施した教科で、今年度はさらに改善して取り組んでいます。

場所：機械科実習棟 1階 溶接工場 対象クラス：2年情報制御システム科 1班 10名

・授業の見どころ

① ICT機器の活用

教科書の文章やイラストでは伝わりにくい部分をアニメーションを利用して理解を深めます。

実習中はループ再生にして迷ったらいつでも見れるようにしています。

② キーワードの活用

実習のポイントを「わかりやすい」「理解しやすい」「記憶に残る」短い言葉でシンプルに伝えることで、ポイントの定着を図る。

ペアで作業を進める際にアドバイスしやすく、作業中の手を止めることなく意識させることができる。

③ ホワイトボードミーティング（生徒主体の課題解決会議）

a. 生徒が主役

進行役（ファシリテーター）、参加者（サイドワーカー）は生徒。

指導教師は方向性がずれそうな時にアドバイスを行い、それ以外は見守ります。

b. 意見の可視化

意見を書くことで「承認しあう関係」を育む。

c. マーカーの使い分け

発散（黒）：意見をどんどん出し、オープン・クエスチョンで深める。

収束（赤）：原因追究（意見の構造化）

活用（青）：解決策の立案（具体的な行動や活動計画の決定）

d. CAPDによる実技の改善

Check（評価）→ Action（改善）→ Plan（計画）→ Do（実行）を繰り返すことで、実技の向上につなげる。※PDCAとはサイクルのスタート位置が違います。

④ 相互評価

作業する前に評価基準を提示して目標をはっきりとさせます。作業を行いながら相互評価を行うことで作業ポイントの整理を行い工夫・改善につなげます。

⑤ 自己評価

作業後に自己評価シートにて学習内容を振り返ります。